

付着生物(ユウレイボヤ等)ラーバ情報

平成27年2月16～23日に陸奥湾6定点で付着生物(ユウレイボヤ等)ラーバ調査を行ったので、その結果をお知らせします。※4～9月は久栗坂・川内のみ

1 ラーバの出現数

オベリア類(通称クサ)のクラゲは、蟹田沖で23.6個/トン、奥内沖で1.7個/トン、久栗坂沖で5.6個/トン、川内沖で20.3個/トン見られました。(図1)

キヌマトイガイのラーバは、奥内沖で55.0個/トン、久栗坂沖で915.0個/トン、小湊沖で116.3個/トン、野辺地沖で60.9個/トン、川内沖で1,154.6個/トン見られました。(図2)

その他の付着生物のラーバ等の出現数は表1のとおりで、ユウレイボヤは奥内沖で1.3個/トン見られ、ザラボヤ、ネンエキボヤは見られませんでした。

なお、マボヤラーバが小湊沖で1.3個/トン、久栗坂沖で1.7個/トン見られました。

2 水温の状況

各ブイの2月24日の平均水温は表2のとおりです。

表1 ラーバ等の出現状況

調査地点	調査月日	単位:個/トン				
		ユウレイボヤ	ザラボヤ	ネンエキボヤ	オベリア類	キヌマトイガイ
蟹田沖	2015/2/	0.0	0.0	0.0	0.0	23.6
奥内沖	H27.2.16	0.0	0.0	0.0	1.7	55.0
久栗坂沖	H27.2.17	0.0	0.0	0.0	5.6	915.0
小湊沖	H27.2.17	1.3	0.0	0.0	0.0	116.3
野辺地沖	H27.2.17	0.0	0.0	0.0	0.0	60.9
川内沖	H27.2.17	0.0	0.0	0.0	20.3	1,154.6

※久栗坂・川内沖は実験漁場内

3 今後の見込み

オベリア類のクラゲの出現数は減少し、昨年同時期並みの出現数となっております(図1)。

キヌマトイガイラーバ(写真1)は増加しており、昨年同時期より多い出現数となっております(図2)。

なお、久栗坂、川内に1/15～2/12の間垂下したパームロープ(ホヤ採苗用と同じ)に全長5mm以下のオベリア類(写真2)及び殻長0.5～1.0mmのキヌマトイガイ(写真3)の付着が見られ、この時期に本格的な付着が始まったものと思われます。

今後のラーバ等の出現動向、付着状況については、次回(3月上旬発行予定)の情報を参考にしてください。

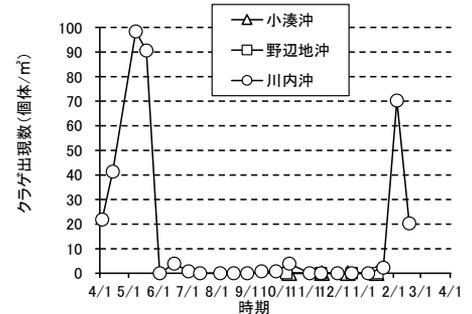
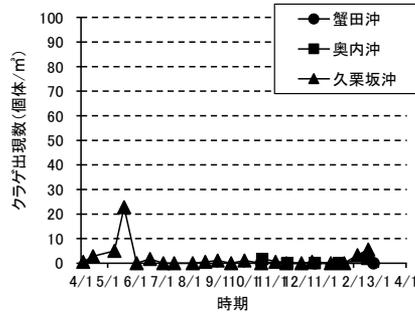


図1 オベリア類(通称クサ)のクラゲ出現数の推移

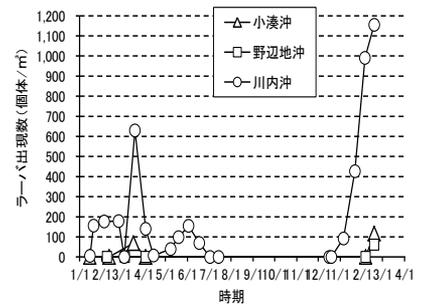
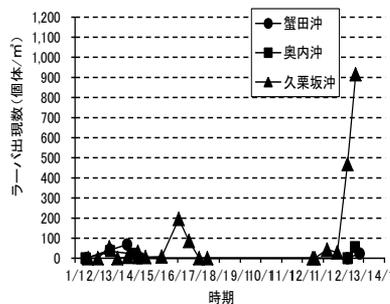


図2 キヌマトイガイラーバの出現数の推移

表2 各ブイの中層における日平均水温(2/24)

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	8.9	野辺地ブイ	5.4
奥内ブイ	7.3	東湾ブイ	5.1
青森ブイ		浜奥内ブイ	3.9

※奥内,野辺地,浜奥内は10m層,他は15m層



写真1 キヌマトイガイラーバ



写真2 付着1ヶ月以内のオベリア



写真3 付着1ヶ月以内のキヌマトイガイ

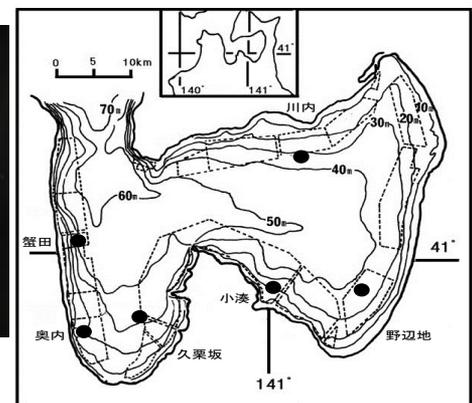


図3 ラーバ調査地点

発行元: 地方独立行政法人
青森県産業技術センター 水産総合研究所
住所: 青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10
TEL: 017-755-2155 FAX: 017-755-2156

水産総合研究所ホームページURL: <http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2184>

ホタテガイ採苗速報 携帯電話用QRコード (1)

海ナビ@あおもり 全モバイル端末共用QRコード (2)

